

風の館は日高山脈襟裳国定公園内にあります。すぐ隣に襟裳岬灯台があるため、灯台の明かりを遮らないように地下に建設するなど、周囲の景観や植生に影響を与えないように考慮しています。また、風の館は、「カルマン渦」をイメージして設計されています。



カルマン渦とは 皆さんは風の強い日など、電線がヒューヒュー音を立ててうなっているのを聞いたことがありますか？ この音はカルマン渦が出している音なのです。カルマン渦とは、強い風が細い枝など円柱状のものに当たったとき、その風下側にできる規則的な空気のことです。この渦を実際に見ることはめったにありませんが、川に枝を入れたとき、その川下にできる渦はカルマン渦と同じパターンをとります。



御製碑



「襟裳岬」歌碑
(森進一・島倉千代子)



襟裳岬は、2010年8月に国指定文化財名勝「ヒカノカ」に指定されました。



豊似湖

テレビCMにも登場するハート形の自然湖。「ハートレイク」とも呼ばれ、周辺には、「ナキウサギ」が生息しています。



ウインディーくん

えりも町イメージキャラクター

襟裳岬に生息する「ゼニガタアザラシ」をモチーフにしたキャラクター。強風にマントをなびかせている姿が特徴です。名前は、町民の公募により風が強いことを意味する「windy」にちなんで命名されました。



STAMP SPACE

ウインディーくんスタンプ

風体験スタンプ

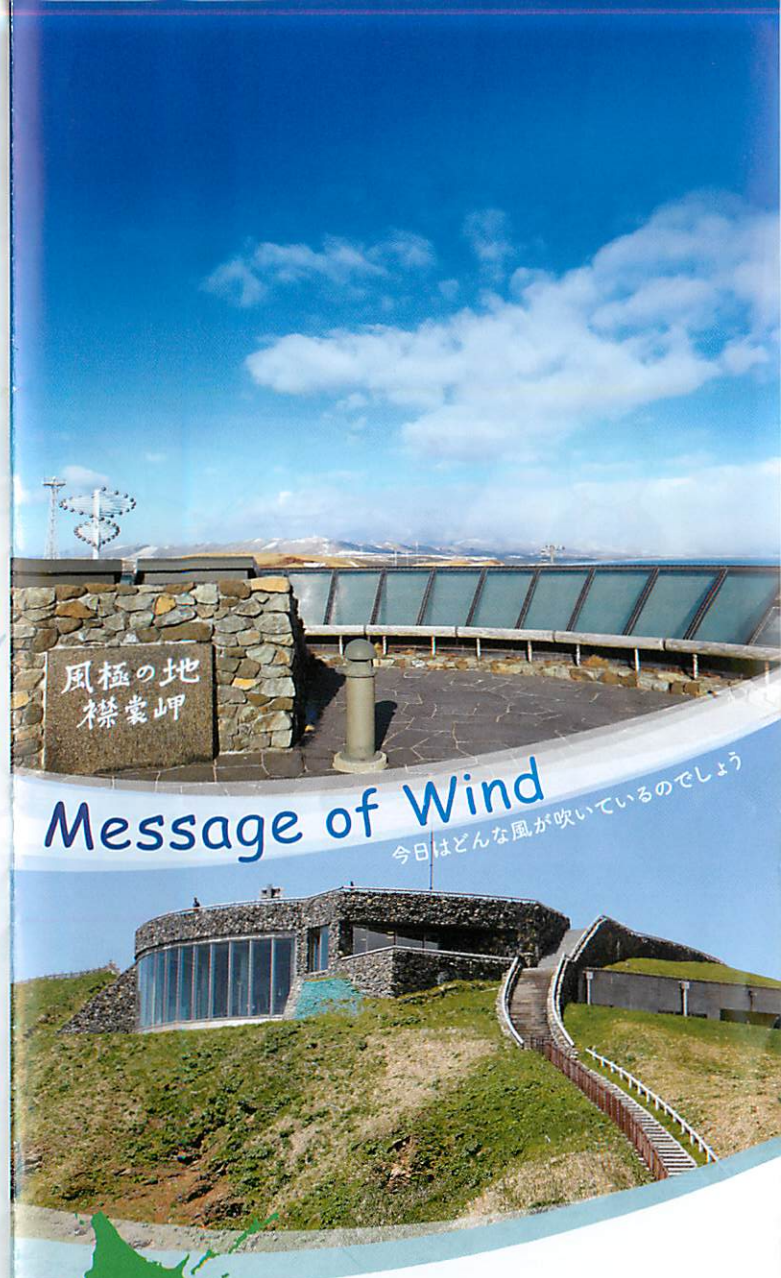
アザラシスタンプ

受付印

襟裳岬スタンプ



【開館時間】 9:00~17:00 (但し5月~8月は9:00~18:00)
 【休館日】 12・1・2月は冬期休館 (但し元旦は5:00~8:00開館)
 【入場料】 大人300円 小人200円
 【年間パスポート】 大人600円 小人400円



Message of Wind

今日はどんな風が吹いているのでしょうか



Cape Erimo

襟裳岬



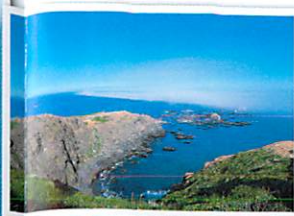
風の館

〒058-0343 北海道幌泉郡えりも町字東洋366-3
 TEL 01466-3-1133 FAX 01466-3-1135
<http://www.town.erimo.lg.jp/kaze>



ウインディーくんが
LINEスタンプに
なりました





④ 展望 襟裳岬
雄大な襟裳岬をガラス越しにゆっくり堪能！また、展望ゾーンの望遠鏡で岬に生息するゼニガタアザラシを観察することができます。

⑤ 展示A
えりも町といえば「風」。その風の仕組みを皆さまに詳しく知っていただくコーナーです。



⑦ えりも風体験
当館一番の人気コーナー。風速25m/sのえりもの強風を体験してみませんか。

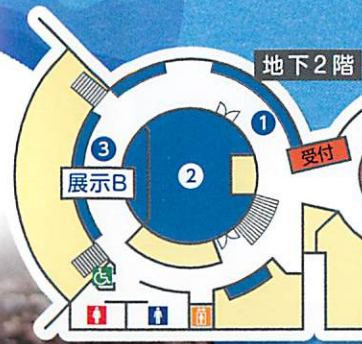


霧夏と襟萌がお待ちしています！

⑧ カルマン回廊
駐車場と風の館をつないでいます。



襟裳岬は、約1,000頭のゼニガタアザラシが一年を通して暮らしています。5月～6月は出産と子育ての季節。夏は毛がわりの時期で、一年で最も多くのアザラシを見ることができます。体の白いリング模様を昔の穴のあいたお金に見立てたのが名前の由来です。魚を食べるため、地元では、漁業との間にあつれきがありますが、アザラシと人との共存を模索する活動が始まっています。



襟裳岬 は、日本最大のゼニガタアザラシの **生息地** です！



Welcome!

施設紹介

Museum of wind



アザラシの棲む岬



② 風のシアター
自然写真家の倉沢栄一氏が撮影した「アザラシの棲む岬」(約20分)を上映。えりもの四季を軸にして、ゼニガタアザラシの生態、昆布漁、サケ漁などを紹介しています。アザラシの水中映像は必見！

① えりも町の紹介コーナー
町内の飲食店、観光スポットの紹介。コンポートクルーズの映像。ゼニガタアザラシのはく製等を展示しています。



③ 展示B
アザラシウォッチング
パネルで望遠カメラを操作し、アザラシの群れや親子のアザラシを見ることができます。



展示スペースではアザラシ写真家の小林佳代氏が撮影したゼニガタアザラシの写真や、町内で見ることができる鳥類や花の展示をしています。



⑥ ショップコーナー
(グッズ販売、工作体験、VR体験)
Tシャツなどのオリジナルグッズの販売。ストラップ、流木えんぴつ、写真立ての工作体験。コンポートクルーズのVR体験ができます。